

スポーツ医学

Sports medicine

シリーズ責任者：スポーツ医学 教授 藤谷 博人

1. 学習内容

本シリーズでは、スポーツ現場で医師として活動する際に必要な知識を講義、実習を通じて身に付ける。スポーツ医学の主たる目的は、スポーツ現場で生じている様々な問題を、医科学的な手法を用いて解決し、それをまた現場に還元することである。スポーツ医学は多くの専門分野から構成される学問であることから、整形外科、内科、脳外科、産婦人科、リハビリテーション、栄養学、心理学、そして運動生理学に至るまで、スポーツに特化した内容について幅広く学習する。

2. 到達目標

- 1) スポーツ外傷(国家試験出題基準)の内容を理解できる。
- 2) スポーツによる頭・頸部外傷について説明できる。
- 3) スポーツ心臓について説明できる。
- 4) 筋萎縮とトレーニングについて理解できる。
- 5) スポーツ現場における救急処置を実践できる。
- 6) スポーツに特徴的な内科疾患を説明できる。
- 7) 障がい者スポーツについて説明できる。
- 8) 熱中症の分類、予防、救急処置について理解できる。
- 9) アスレチックリハビリテーションの意義を理解できる。
- 10) 選手との良好なコミュニケーションの取り方を実践できる。
- 11) 女性アスリートの特徴を理解できる。
- 12) テーピングの正しい手技を実践できる。
- 13) メディカルチェックの意義を理解できる。
- 14) スポーツにおける栄養の重要性を説明できる。
- 15) スポーツ選手の心理的变化を評価できる。

3. 学習上の注意点

本シリーズは、講義と実習を組み合わせで行う。実習は積極的な姿勢で取り組むこと。運動実践においては、運動前後の身体的・心理的な変化を自分の体で経験する。スポーツ医学は、多くの独立した専門分野から構成されており、事前に教科書・参考書を一読しておくこと。

4. 教科書・参考書

教科書：『スポーツ医学研修ハンドブック（基本科目）』第二版（文光堂）
『スポーツ医学研修ハンドブック（応用科目）』第二版（文光堂）
（書評）いずれもスポーツ医学全般の内容がコンパクトにまとまっており、
知識の整理に適している。

5. 成績評価

| 評価項目 | 実施回数 | 評価割合 | 備考 |
|------|------|-------|----|
| 定期試験 | 1 | 80（％） | |
| レポート | 随時 | 10（％） | |
| 授業態度 | | 10（％） | |

6. オフィスアワー

| 所属 | 役職 | 氏名 | 時間 | 場所 | 連絡先 |
|--------|----|-------|-------------------|-------------------|----------|
| スポーツ医学 | 教授 | 藤谷 博人 | 毎週水曜日 8時30分～9時 | 体育館1階 スポーツ医学講座 | 4553(内線) |